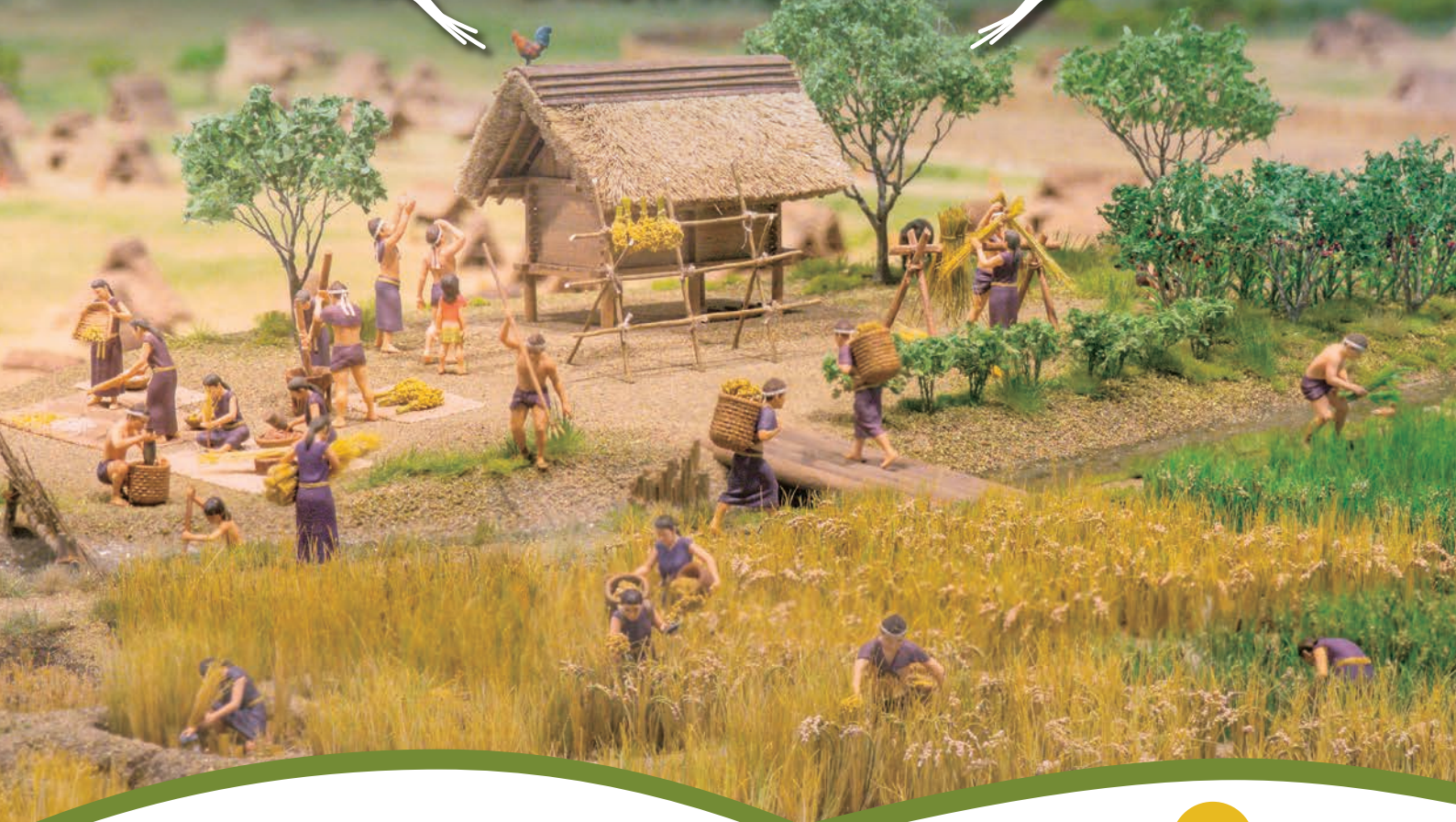


企画展

# 弥生農耕 ことはじめ

— 出土した農具から探る —



2023  
**10.21** 土 ▶ **12.17** 日

11.27 月 あいち県民の日 **開館**  
11.21 火 ▶ 11.27 月 あいちウィーク **観覧無料**

【関連講演会等】※応募詳細は裏面をご参照ください。

**11月4日** 土 **「収穫具、引いて切るか押して切るか」**  
講師／原田 幹(あいち朝日遺跡ミュージアム学芸員) 参加費／無料 **定員 25人**  
講座ヒストリーカフェ 時間／13:30～14:30 申込期間／9月22日(金)から10月22日(日)まで

**12月9日** 土 **「弥生時代水田稲作の器具保有者・作業者・産物享受者」**  
講師／山田 昌久氏(東京都立大学大学教育センター特任教授) 参加費／無料 **定員 会場 50人 オンライン 100人**  
講演会 時間／13:30～15:00 申込期間／9月22日(金)から11月19日(日)まで

**12月10日** 日 **「弥生時代の収穫・調製技術の再検討」**  
(水田稲作技術比較研究プロジェクト共催) **定員 会場 50人 オンライン 100人**  
シンポジウム 参加費／無料 時間／10:00～16:00 申込期間／9月22日(金)から11月19日(日)まで



**観覧料**  
常設展も  
観覧できます

区分	一般	大学生・高校生 (学生証のご提示が必要です)
個人	300円	200円
団体 (有料20名以上)	250円	150円

※学校行事(高校以下)及びその引率者、中学生以下、障がい者の方及びその付添いの方(1名まで)は無料 ※団体は事前申込みが必要  
※あいちウィーク(11/21(火)～11/27(月))は観覧料が無料です。

AICHI ASAHI SITE MUSEUM  
**あいち朝日遺跡ミュージアム**

〒452-0932 愛知県清須市朝日貝塚1番地 TEL.052-409-1467  
■開館時間／9:30～17:00 ■休館日／毎週月曜日(祝休日の場合、翌平日)  
■駐車場／15台 ※あいち県民の日(11/27(月))は開館します。



SNSもご覧ください



<https://aichi-asahi.jp/>



あいち朝日遺跡ミュージアム企画展

弥生農耕ことはじめ ー出土した農具から探るー

弥生時代には、農耕が始まり、様々な農具が普及していきました。収穫に用いられた石包丁、脱穀や籾摺りに用いられた杵や臼は、農耕とともに大陸からもたらされた新しい道具でした。一方、大型石包丁のように、その役割がはっきりと説明されていない道具もあり、現在も研究が進められています。

今回の企画展では、九州から中部地方で出土した、収穫・調製(脱穀、籾摺りなど)に用いられた農具を取り上げ、弥生時代の人々がどのようにコメを収穫し、どのように保管・加工していたのか、弥生時代の農耕技術について考えます。

- 1 石製収穫具 佐賀県吉野ヶ里遺跡(佐賀県文化課文化財保護・活用室蔵)
- 2 石包丁・大型石包丁 大阪府都遺跡・倍賀遺跡(茨木市教育委員会蔵)
- 3 彩文土器壺 佐賀県菜畑遺跡(唐津市指定文化財、唐津市教育委員会蔵)
- 4 竪杵 岡山市埋蔵文化財センター蔵
- 5 藁打ち槌と藁打ち石 愛知県設楽町民具(奥三河郷土館蔵)



関連講演会・関連イベント等 ※展示の観覧には観覧料が必要です。

講座・歴史カフェ 「収穫具、引いて切るか押して切るか」

東アジアの伝統的な収穫具には、刃を体の方に引き起こすように切るものと刃を前方に押し出して切るものの2つの使用方法が見られます。収穫具の形と使い方の違いについて、中国、朝鮮半島、日本の考古資料、そして東南アジアの民具を比較しながら見ていきます。

11月4日(土) 13:30~14:30 講師 原田 幹 (あいち朝日遺跡ミュージアム学芸員)

会場 あいち朝日遺跡ミュージアム 本館(研修室) 申込期間 9月22日(金)から10月22日(日)まで  
 申込方法 ミュージアム窓口又はミュージアム公式Webサイトの応募フォームからお申し込みください。 参加費 無料 定員 25人(要事前申込み)  
 ※申込多数の場合は抽選とします。抽選の有無に関わらず、参加いただける方にはメールもしくは電話で10月27日(金)までに通知します。

講演会 「弥生時代水田稲作の器具保有者・作業着・産物享受者」

弥生時代の稲作において、器具は誰が保有し、どのような組織で行われ、収穫物はどのように調製・保管されたのでしょうか。また自集団消費的な利用と、地域の首長や大和王権に税を納めるための利用では、技術発揮がどう違うのかを考えます。

12月9日(土) 13:30~15:00 講師 山田 昌久氏 (東京都立大学大学教育センター特任教授)

シンポジウム 「弥生時代の収穫・調製技術の再検討」  
(共催:水田稲作技術比較研究プロジェクト)

弥生時代の稲作では、コメをどのように収穫し、加工、保管していたのでしょうか。最新の研究成果に基づく発表と、収穫・調製(脱穀や籾摺り・精米など)に関する技術とその問題について討論会を行います。

12月10日(日) 10:00~16:00

「使用痕からみた弥生時代の収穫技術」原田 幹(あいち朝日遺跡ミュージアム学芸員)

「出土米・稲わらブロックからみた弥生時代の収穫」岡田 憲一氏(奈良県立橿原考古学研究所調査第二係長)

「弥生時代にはイネを一年に何回収穫したのか?ー全国の遺跡公園におけるイネの不耕二期作・多年栽培実験ー」

登壇者 那須 浩郎氏(岡山理科大学准教授) 上條 信彦氏(弘前大学人文社会科学部教授)

「民族誌モデルと出土竪杵の搗き部形態からみた脱穀方法の変化」

小林 正史氏(金沢大学古代文明・文化資源学研究所客員教授)・村上 由美子氏(京都大学総合博物館准教授)

※討論会パネリスト 山田 昌久氏(東京都立大学大学教育センター特任教授)

※討論会司会 白石 哲也氏(山形大学学士課程基盤教育院准教授)

会場 あいち朝日遺跡ミュージアム 本館(研修室) オンラインによる配信あり(要事前申込み)  
 申込方法 ミュージアム窓口又はミュージアム公式Webサイトの応募フォームからお申し込みください。なお、オンラインでの参加については、応募フォームからのみ受け付けます。  
 申込期間 9月22日(金)から11月19日(日)まで 参加費 無料 ※申込多数の場合は抽選とします。抽選の有無に関わらず、参加いただける方にはメールもしくは電話で11月24日(金)までに通知します。  
 定員 会場50人、オンライン100人(ともに要事前申込み)  
 ※シンポジウムの詳細については、ミュージアム公式Webサイト及び水田稲作技術比較研究プロジェクトの公式Webサイト(https://sites.google.com/view/suidenproject/)で御案内していきます。

イベント

古代体験プログラム

先着各10人

10月1日(日)・12月24日(日) 土・日・祝日 15:00~(各日1回開催)

会場 本館(体験学習室) 定員 各回先着10人  
 申込方法 ミュージアム窓口にてお申し込みください。 ※事前予約はできません。

月替わりメニュー(10月~12月)

<p>10月 ミニチュア石包丁づくり</p> <p>●所要時間:45分</p> <p>メニュー作例</p> <p>教材費 50円</p>	<p>11月 おうちで焼ける!土器づくり</p> <p>●所要時間:60分</p> <p>メニュー作例</p> <p>教材費 400円</p>	<p>12月 稲わらを使って正月飾りをつくろう!</p> <p>●所要時間:60分</p> <p>メニュー作例</p> <p>教材費 350円</p>
--	---	---

常設メニュー

<p>カラフル勾玉作り</p> <p>●土日祝 11:00~14:00~(各回30分)</p> <p>教材費 300円</p>	<p>火起こし体験 毎日開催</p> <p>●平日 13:00~</p> <p>●土日祝 10:00~13:00~</p> <p>教材費 50円</p> <p>※荒天時は中止します。</p>
---	---

あいちウィーク特別企画

各日100人

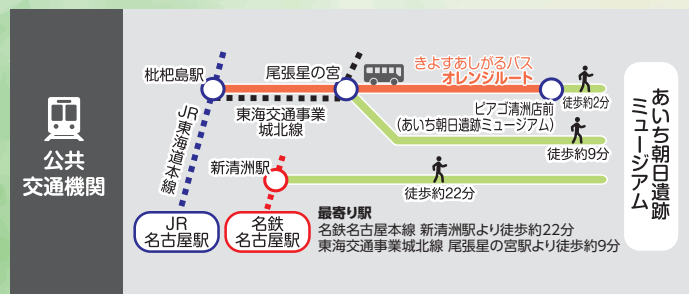
朝日遺跡弥生ウィーク

11月21日(火)・11月27日(月) 10:00~12:00、13:00~16:00

会場 本館(研修室ほか) 定員 各日100人  
 申込方法 ミュージアム窓口にてお申し込みください。 ※事前予約はできません。

<p>土器拓本づくり</p> <p>●所要時間 30分</p> <p>メニュー作例</p>	<p>教材費 無料</p>	<p>勾玉アクセサリづくり</p> <p>●所要時間 20分</p> <p>メニュー作例</p> <p>教材費 100円</p>
---	---------------	--

あいち朝日遺跡ミュージアム



公共交通機関  
 名古屋第二環状自動車道「清洲東IC」から約1分  
 施設駐車場の数には限りがあります。駐車場が満車の場合、清洲公園駐車場に駐車できます(午後5時45分まで)。

